

別紙

2025年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	くしろ子育て応援フェスティバル実行委員会
事業名	くしろ子育て応援フェスティバル 2025
課題テーマ	若い世代を社会全体で支える
事業目的	使わなくなった子どもの洋服、おもちゃ、ベビーカー、チャイルドシート、絵本などを持ちより、売買ではなく交換するイベントです。おさがりの交換を通じて、使えるものを捨てるのではなく再利用するというお財布にも環境にも優しい仕組みづくりをするとともに、子育て世帯同士や地域の皆さまと助け合い支えあいができるつながりを作ることを目的としています。これはSDGsの「住み続けられる街づくりを」「つくる責任つかう責任」に通じる活動だと考えております。
事業展開	<p>日時：2025年10月11日（土）10:00～15:00</p> <p>場所：ウィンドヒルくしろスーパーアリーナ</p> <p>来場者数：約3,200名（当初予想を大幅に上回る盛況となりました）</p> <p>内容： 「おさがり交換会」をメイン軸に、釧路の子育てに関わる団体・企業と連携した「子育てフェスティバル」を開催。</p> <p>遊びの充実：小樽市より「キンダーリープ号（移動おもちゃ販売車）」を招聘。おもちゃ遊びの専門家による指導のもと、質の高い遊び場を提供。</p> <p>地域連携：釧路短期大学の学生による「子どもの遊び広場」、釧路市環境事業課・環境保全課による啓発出展、企業ブース、職業体験など、親子で一日楽しめる多彩な企画を実施。</p>
成果目標の達成状況	<p>交流とニーズ把握：イベントを通じて子育て世帯・企業・行政が繋がる場を創出。アンケート調査を実施し、現在の釧路における子育て事情や課題、具体的なニーズを可視化。</p> <p>生活支援：物価高騰が続く中、おさがりの提供を通じて家計の負担軽減と親御さんの心理的な孤立防止に努める。</p> <p>居場所の提供：外遊びが難しくなる季節を前に、親子が安心して</p>

	て楽しめる広大な屋内空間を提供
波及効果の達成状況	<p>ネットワークの形成：参加者同士、および参加者と支援団体・企業との継続的なネットワーク構築。</p> <p>事業の定例化と発展：本イベントが釧路の子育てインフラとして定着することを目指す。</p> <p>地域経済への寄与：都市部の事例を参考に、企業協賛や出展を募ることで、持続可能な「商業的イベント」としての発展と地域活性化を促進。</p>
実施体制	<p>主催：くしろ子育て応援フェスティバル実行委員会</p> <p>役員構成：</p> <p>実行委員長：伊藤 美也子</p> <p>副実行委員長：畑谷 菜摘、佐藤あゆみ</p> <p>会計事務：高木 ゆかり</p> <p>監査：澤村麻衣子</p> <p>スタッフ：ボランティアスタッフ 約 20 名</p>
連携した市担当課	<p>無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> (こども未来保健部こども育成課 市民環境部環境保全課・環境事業課)</p>
連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)	<p>こども育成課 (担当：岡本様)：</p> <p>市内子育て支援センターへの「おさがり回収ボックス」の設置協力、および市の広報物等を通じたイベント周知のバックアップ。</p> <p>環境保全課・環境事業課：</p> <p>子育て世帯に対する環境意識の普及・啓発活動として、イベント当日におけるブース出展および運営協力。</p>

2 支出決算書と支出内訳
(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	300,000	
協賛金	226,000	18社からご支援
参加費	102,000	500円×204名 (大人) 子ども無料
自己資金	12,906	

合 計	640,906 /	
-----	-----------	--

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
委託料	105,000 /	ポスターデザイン料
印刷製本費	152,460 /	会場ポップ、入場カードなど
消耗品費	14,433 /	ペンやガムテープなど
役務費	158,125 /	広告料、保険料 (9,625)
小 計	430,018	
対象外経費		
エコバッグ代	33,000 /	おさがりエコバッグ参加者へお渡し
飲食費	38,160 /	スタッフお弁当、飲み物など
景品代	94,549	抽選会の景品など
燃料費	14,179 /	おさがりの回収や運搬のガソリン代
謝礼	31,000 /	ボランティアスタッフ謝金
小 計	210,888	
合 計	640,906 /	